

# 東北から世界へ 魅力あるコンパクトカーを もっと早くお客様へ

## 環境報告 2025



東北をずっともっと元気に



**トヨタ自動車東日本**  
TOYOTA MOTOR EAST JAPAN

TMEJ



<https://www.toyota-ej.co.jp>

## <掲載内容>

### 環境保全の取組み (1ページ)

「環境に関する取り組みの基本方針」を制定し、全社一丸となって環境保全に取り組んでいます。

### 環境マネジメント (2ページ)

国際的なEMS規格「ISO14001」の認証を取得。毎年、外部審査を受審し維持、更新することで、会社全体のレベルアップにつなげています。

### 異常苦情未然防止活動 (3ページ)

設備導入時の確認や納入業者様との連携、従業員教育により環境異常苦情の未然防止を図っています。

### 環境負荷低減活動 (4～9ページ)

トヨタグループの一員として、環境取組みプランを策定・実行し、CO<sub>2</sub>、VOC、廃棄物などの低減活動を推進して2025年目標を達成しました。

### 自然共生活動 (10～11ページ)

近隣の行政やトヨタグループと連携し、東北地区や裾野地区での自然保護活動を推進しています。



# 目次

## 1. 環境保全の取り組み

環境に関する取り組みの基本方針

環境取り組み体制

## 2. 環境マネジメント

環境監査

## 3. 異常苦情未然防止活動

設備導入時の確認、点検

納入業者様と協力した納入作業の点検

環境異常の未然防止に向けた階層別教育

## 4. 環境負荷低減活動

環境取り組みプラン

トヨタ環境チャレンジ2050

第8次環境取り組みプラン（5カ年実行計画）

2025年の取り組み結果

CO<sub>2</sub>低減に向けた取り組み状況

VOC低減に向けた取り組み状況

廃棄物低減に向けた取り組み状況

## 5. 自然共生活動

宮城県 伊豆沼環境保全活動

静岡県裾野市 環境保全活動

# 1. 環境保全の取り組み

当社はISO14001に基づいた環境マネジメントシステム（以下、EMS）を構築し、運用しております。2017年9月には、ISO14001新規格への対応と同時に、全拠点を統合した外部認証を取得しております。これにより全社一丸となって環境保全に取り組んでおります。また、環境負荷低減を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）は2015年9月に国連総会にて採択された、2030年までに人類が達成すべき17の目標と169のターゲットです

## 環境に関する取り組みの基本方針

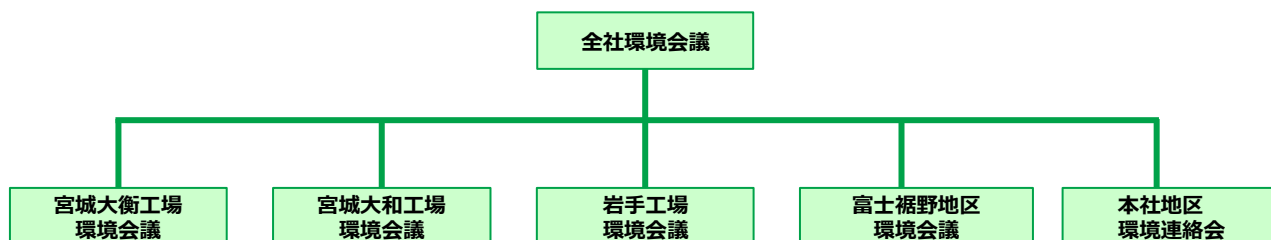
当社はトヨタ自動車（株）の「トヨタ地球環境憲章」を受け「環境に関する取り組みの基本方針」を制定しております。SDGs達成への貢献、カーボンニュートラルに向けた取り組み強化など、取り巻く環境変化にあわせ2021年7月に見直し、全従業員に周知して、全社一丸となって地球環境保全に努めます。

### <当社の環境に関する取り組みの基本方針>

1. 当社は自動車製造を通じ、エネルギーと資源を効率的に使うことを追求し、環境負荷低減と持続可能な社会に貢献します
2. カーボンニュートラル（以下、CN）、サーキュラーエコノミー（以下、CE）、ネイチャーポジティブ（以下、NP）の実現を通じて、気候変動、天然資源保護、生物多様性を考慮した取り組みを推進します
3. 環境法令遵守を確実に満たすことはもとより、環境リスクの低減に努め汚染・異常の未然防止に取り組めます
4. 当社の製品ライフサイクルを考慮したEMSの適用範囲を設定するとともに、EMSの継続的改善を図り自ら設定した目標達成に向け環境パフォーマンスを向上します
  - ・クルマの開発段階から軽量化やリサイクル性の向上に努めます
  - ・生産工程の省エネと革新的な技術の導入、再生可能エネルギーの導入・利用を推進します
  - ・外部委託、物流、廃棄等のプロセスに対し、影響を及ぼせる範囲において環境配慮を求めています
5. 社員一人ひとりの環境保全の意識を高め、自覚と責任を持って考動できる組織文化の醸成に継続的に取り組めます

## 環境取り組み体制

環境部門のトップを議長とする全社環境会議と、各拠点長（工場長等）を議長とする各拠点環境会議にて、重要環境課題について対応の方向付けを行い、環境保全活動の推進を図ります。



# 2. 環境マネジメント



## 環境監査

国際標準化機構（ISO：中央事務局スイス、ジュネーブ）が定める、環境に配慮した組織、企業に与えられる国際的なEMS規格「ISO14001」の認証を取得。毎年、監査を実施し維持、更新しています。

### <内部監査>

EMSの運用状況を確認するために、各拠点においてISOの規格に基づき環境管理活動が運用され、特に環境法令遵守、環境異常苦情未然防止活動がなされているか、内部監査員による監査を毎年実施しています。また、内部監査員の力量向上を狙いとして、拠点間の相互監査や審査員有資格者によるOJTを実施することで会社全体のレベルアップにつなげています。

現地現物での監査



廃棄物保管状況の監査



### <外部機関による審査>

外部機関による審査も毎年実施しており、1997年から認証を継続しています。2017年には3つの会社（旧関東自動車工業、旧セントラル自動車、旧トヨタ自動車東北）統合後も別々に運用していた環境マネジメントシステムを一つにまとめ、統合認証を取得し、全社一丸となった環境保全活動を推進しています。

各書類（測定結果等）審査



### <ISO14001の適用範囲> ※

- ・宮城地区 本社:宮城県黒川郡大衡村中央平1番地  
【自動車製造事業の中央管理機能】
- ・宮城地区 宮城大衡工場:宮城県黒川郡大衡村中央平1番地  
【自動車の製造】
- ・宮城地区 宮城大和工場:宮城県黒川郡大和町松坂平5丁目1番地の1及び6丁目2,5-1,5-2,6-1,6-2  
【電子制御ブレーキ,電子制御サスペンション及びアクスル等の自動車部品の製造及び自動車用エンジンの組立】
- ・岩手地区 岩手工場:岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山1番地6、1番地2  
【自動車の製造】
- ・富士裾野地区 富士裾野テクニカルセンター:静岡県裾野市御宿1501番地  
【自動車の企画,開発,設計及び製造技術】
- ・富士裾野地区 須山工場:静岡県裾野市須山2810-1  
【自動車用プレス金型の製造】

設備の現地確認



※サイトに常駐する請負業者およびサイトに在る当社関連会社・団体は原則として適用範囲に含めない。  
この場合、管理担当部署がEMSに関連した活動を管理し、必要なコミュニケーションを図る。  
原則と異なる運用をする場合は、各サイトでそれを定め、組織図で明確にする。

# 3. 異常苦情未然防止活動

## 設備導入時の確認、点検

新型車の生産に伴い、新たに導入した設備の点検や作業確認を設備計画部署、設備運転部署及び工場環境管理部署が一体となって実施しています。日常管理項目や緊急時の対応手順を明確にし、環境リスクに対する未然防止を図っています。こうした取り組みは新型車の量産開始以降も継続的に実施しています。

新型車の生産開始に合わせて導入した足回り部品の切削、研磨、洗浄設備



工場長による新設設備の点検（洗浄油の漏洩防止）



## 納入業者様と協力した納入作業の点検

工場にはガソリン等の燃料をはじめ、塗料や薬品などが納入されます。こうした納入作業が、安全、確実に行われる様に、納入業者様と協力して、作業の点検や万一の漏洩を想定した訓練を実施しています。

防火面、作業安全面を含めた納入作業の点検



実際に水を流しながら漏洩を防止する訓練

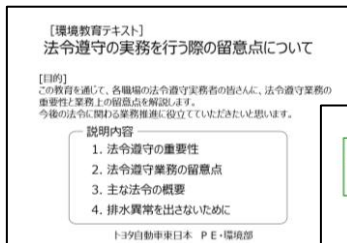
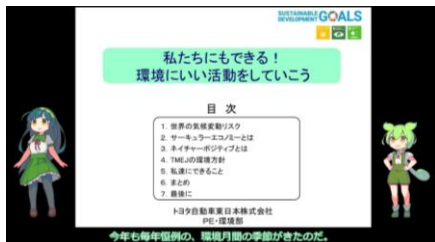


## 環境異常の未然防止に向けた階層別教育

全従業員に対し環境活動へ親しみを持ってもらう施策として、キャラクターを用いた掛け合い動画を活用することで、分かりやすく環境意識向上につながる教育を実施しています。また、当社子会社に対しても法令やCNに関する教育資料を展開し、グループ全体としてのレベルアップにつなげています。

全従業員向けの親しみやすく、分かりやすい教育資料の展開  
 （東北復興のイメージキャラクターを用いた解説動画）

子会社向け環境教育資料



# 4. 環境負荷低減活動

## 環境取り組みプラン

当社はトヨタグループの一員として、トヨタ自動車（株）が2015年10月に発表した「トヨタ環境チャレンジ2050」の実現に向けて取り組んでおります。また、2050年までの長期的な取り組みを着実に推進するために、5カ年ごとの中期環境取り組み計画＝環境取り組みプランを策定し、計画的に実行しております。

## トヨタ環境チャレンジ 2050

気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失といった地球環境の問題に対し、クルマの持つマイナス要因を限りなくゼロに近づけるとともに、社会にプラスをもたらす事を目指して、トヨタ（グループ）は6つのチャレンジに向けた取り組みを進めています。

### トヨタ環境チャレンジ2050 「ゼロの世界にとどまらない“プラスの世界”を目指して」 ～Challenge to ZERO & Beyond～

ゼロへのチャレンジ	新車CO2ゼロチャレンジ	次世代車の開発・普及
	ライフサイクルCO2ゼロチャレンジ	環境配慮設計 ～素材から廃棄まで～
	工場CO2ゼロチャレンジ	徹底した低CO2革新技術 再エネ導入・水素利用
プラスを目指すチャレンジ	水環境インパクト最小化チャレンジ	徹底的に使用を少なく 徹底的にきれいに
	循環型社会・システム構築チャレンジ	資源循環システム グローバル展開
	人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ	オールトヨタ統一活動を 社会・世界とつなぐ

## 第8次環境取り組みプラン（5カ年実行計画）

2026年度より第8次環境取り組みプランを開始し、従来の法令遵守・環境マネジメントの強化、CNの実現に加えCEの推進、生物多様性や自然共生に配慮したNPの取り組みを新たに加え、各種活動を通して地球環境保全に努めます。

区分	推進項目	主な取り組み内容・目標
CN (カーボンニュートラル)	CO <sub>2</sub> 排出量低減 	日常改善、革新的技術、再生可能エネルギーの導入等 35年工場CNに向けた活動推進 目標：2019年度比 ▲47%以下
CE (サーキュラーエコノミー)	循環型社会構築 	廃棄物の徹底的削減に取り組み、環境性と経済性を 両立しつつ、資源投入量と廃棄物量の最小化を目指す 目標：2019年度実績以下
	廃棄物排出量低減	
NP (ネイチャーポジティブ)	自然共生活動 	自然と共生する拠点の拡大
	水使用量低減 	日常の節水活動推進 目標：2019年度実績以下
環境マネジメント (従来からの継続項目)	ボディ塗装VOC低減	塗装工程における塗料、シンナー使用量の低減など 目標：2019年度実績以下
	バンパー塗装VOC低減	

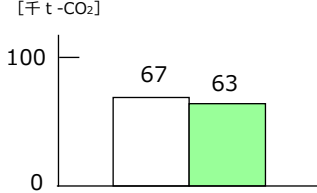
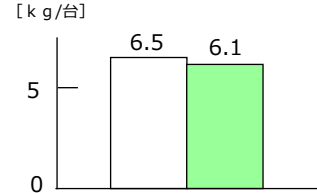
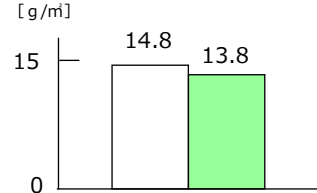
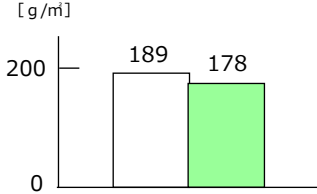
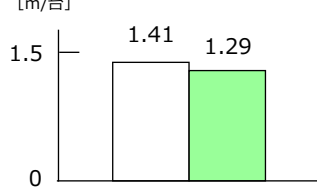
※VOC (Volatile Organic Compounds)  
揮発性有機化合物

# 4. 環境負荷低減活動



## 2025年の取り組み結果

2025年も改善活動の推進により、全項目で目標を達成することができました。

推進項目	目標達成状況 (2025年) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black;">目標</td> <td style="width: 20px; height: 20px; border: 1px solid black; background-color: #90EE90;">実績</td> </tr> </table>	目標	実績	主な取り組み内容				
目標	実績							
CO <sub>2</sub> 排出量 (総量)	[千t-CO <sub>2</sub> ]  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>目標</td><td>67</td></tr> <tr><td>実績</td><td>63</td></tr> </table>	項目	値	目標	67	実績	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ活動の推進（機器高効率化、エア低減活動等）</li> <li>・革新技術の導入（新規技術、工程集約等）</li> <li>・再エネ電力の購入</li> </ul>
項目	値							
目標	67							
実績	63							
廃棄物排出量 (生産1台当たり)	[kg/台]  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>目標</td><td>6.5</td></tr> <tr><td>実績</td><td>6.1</td></tr> </table>	項目	値	目標	6.5	実績	6.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水処理、塗装工程で発生する汚泥の脱水化</li> <li>・油脂等の再資源化、有価物化</li> </ul>
項目	値							
目標	6.5							
実績	6.1							
ボディ塗装 VOC (塗装面積当たり)	[g/m <sup>2</sup> ]  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>目標</td><td>14.8</td></tr> <tr><td>実績</td><td>13.8</td></tr> </table>	項目	値	目標	14.8	実績	13.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装の塗着効率向上</li> </ul>
項目	値							
目標	14.8							
実績	13.8							
バンパー塗装 VOC (塗装面積当たり)	[g/m <sup>2</sup> ]  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>目標</td><td>189</td></tr> <tr><td>実績</td><td>178</td></tr> </table>	項目	値	目標	189	実績	178	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗浄シンナーの使用量低減・回収率向上</li> </ul> <p style="text-align: right;">※VOC (Volatile Organic Compounds) 揮発性有機化合物</p>
項目	値							
目標	189							
実績	178							
水使用量 (生産1台当たり)	[m <sup>3</sup> /台]  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>目標</td><td>1.41</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1.29</td></tr> </table>	項目	値	目標	1.41	実績	1.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水活動の推進</li> <li>・槽清掃周期の適正化による工水の低減</li> </ul>
項目	値							
目標	1.41							
実績	1.29							

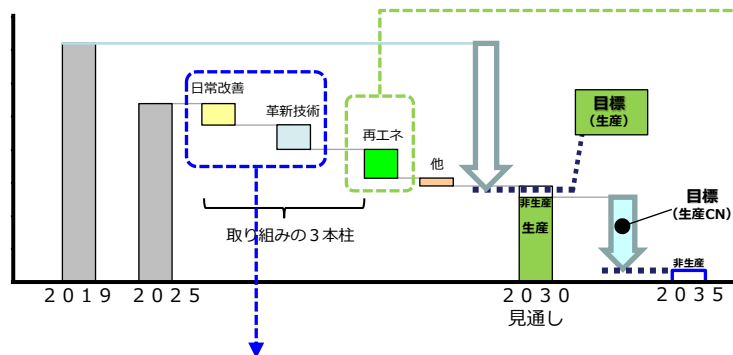
# 4. 環境負荷低減活動

## CO<sub>2</sub>低減に向けた取り組み状況

### <CN達成シナリオの立案>

日常改善・革新技術・再エネ導入の3本柱で推進

#### [CN達成シナリオ]



太陽光  
発電拡大



[参考]

現時点で岩手工場へ水力由来の  
再生可能エネルギーを導入



将来的に電力の100%  
CO<sub>2</sub>フリー化を目指す

使うエネルギーのミニマム化に向け  
中長期計画を立て推進

### <金ケ崎レジリエンスグリッド>

地域防災性向上とCNの両立を目的に運用開始

太陽光やコジェネ、蓄電池を組み合わせ、エネルギーマネジメントシステムでムダなくエネルギーを使うことでCNを推進するとともに、非常時には地域防災に協力する体制を構築しています



効率的にエネルギーを作る



太陽光発電3,800kW



コジェネ (既設)

貯める



蓄電池2,700kWh

効率的に利用する



エネルギーマネジメントシステム

# 4. 環境負荷低減活動

## CO<sub>2</sub>低減に向けた取り組み状況

### <日常での改善>

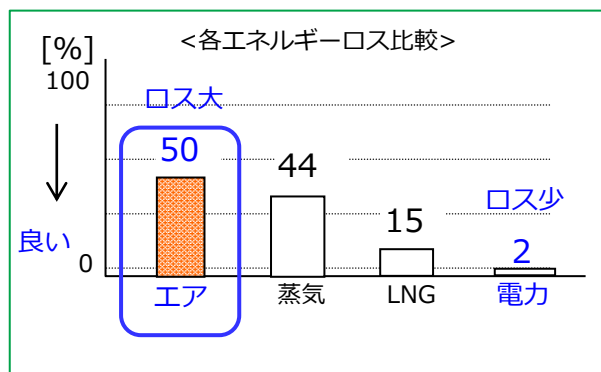
#### エアブロー電動化によるCO<sub>2</sub>排出量低減

##### 【着眼点】

エアは他のエネルギーと比較しロスが大きい

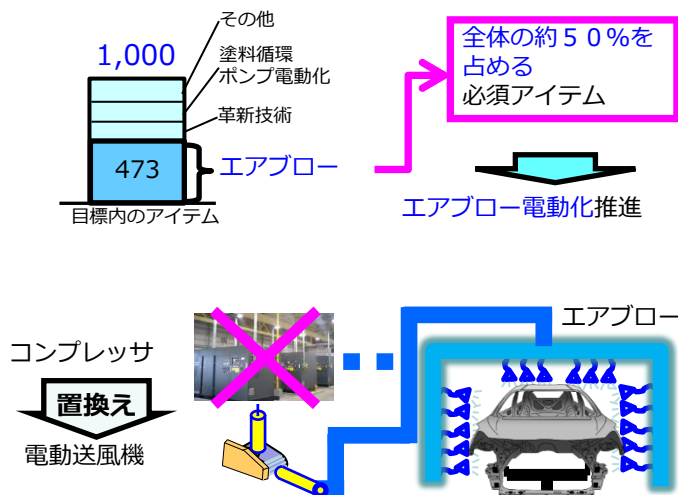


エアコンプレッサを順次停止、電動化



##### 【改善内容】

低減量：1,000 t-CO<sub>2</sub>/年を目標に設定



### <日常での改善>

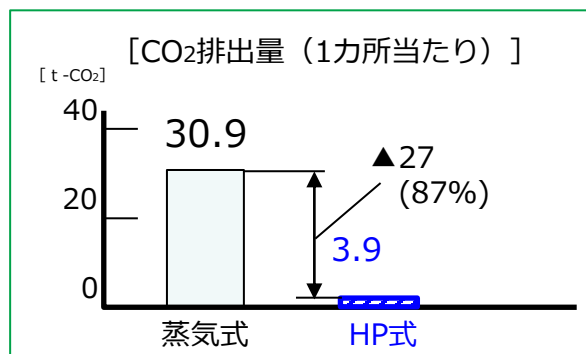
#### 蒸気レスエアシャッター導入によるCO<sub>2</sub>排出量低減

##### 【着眼点】

エアの次にエネルギーロスの大きい蒸気を電化したい



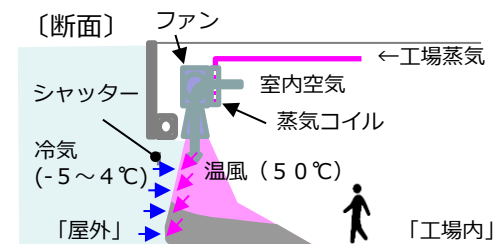
蒸気使用のエアシャッターを順次電動化



##### 【改善内容】

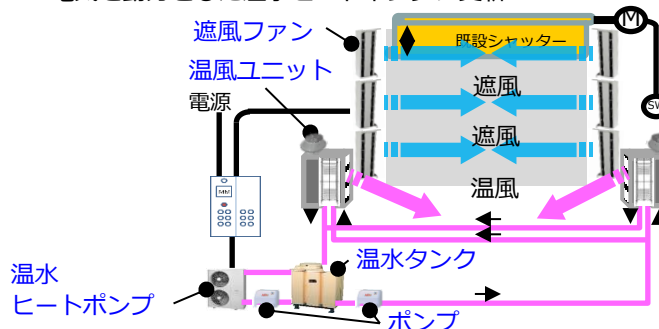
##### <既存のエアシャッター>

冬期、冷たい外気侵入を防ぐ目的で設置



##### <蒸気レスエアシャッター>

電気を動力とした温水ヒートポンプに更新



# 4. 環境負荷低減活動

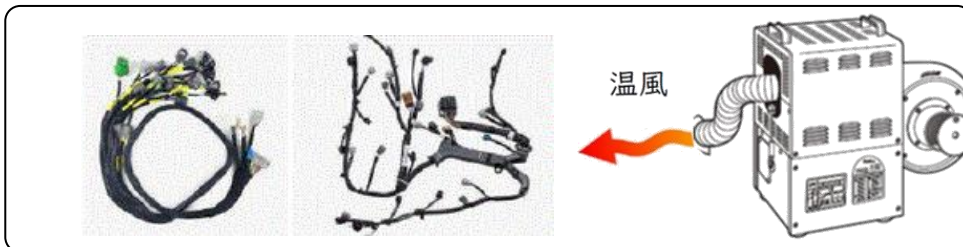


## CO2低減に向けた取り組み状況

### <日常での改善>

#### 吸気エアの循環化によるCO2排出量低減

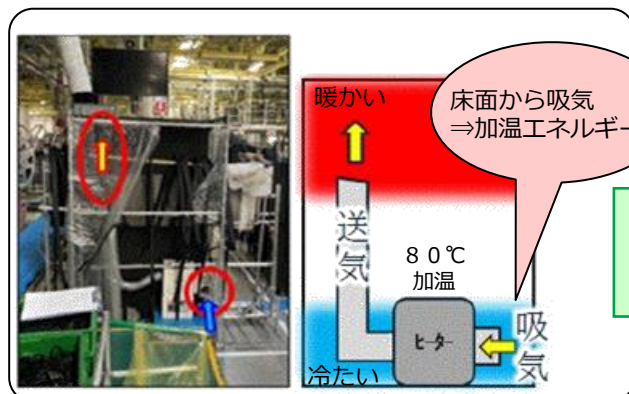
自動車部品であるハーネスなどは、温風で温めて柔らかくしてから組付け



加温により  
柔らかくなるので  
作業性UP

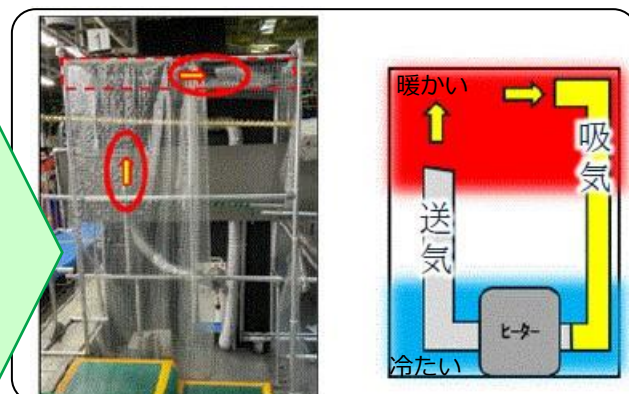
#### 【改善前】

今までは床面からの冷たい空気を  
吸い込み80℃に温めて送気していた



#### 【改善後】

加温機上部から吸気することで循環化され、  
加温エネルギーを削減することができた



#### <改善効果>

⇒年間電力量が4.5%削減

### <日常での改善>

#### 省エネパトロール等による非稼働時のCO2排出量低減

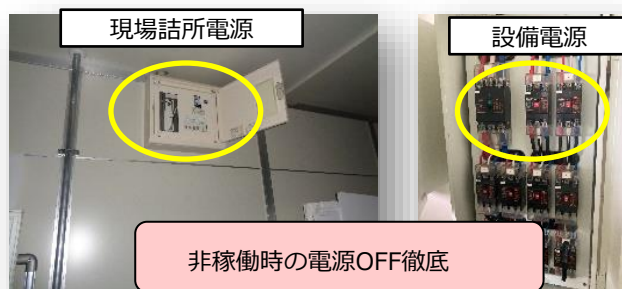
#### 【着眼点】

休日や連休中の非稼働時のエネルギーを  
低減するため各工場で省エネパトロール実施



#### 【改善内容】

- ・連休期間中の機器・詰所の電源OFF徹底
- ・設備電源のブレーカーOFF徹底



# 4. 環境負荷低減活動

## VOC低減に向けた取り組み状況

### 塗料吹付ガンの変更によるクリア塗料使用量の低減

#### <改善前>

- ・従来、塗料吹付ガンは、高電圧電源を使用
- ・電気ショート防止のため、塗装面と吹付ガンの距離は300mm確保し塗料の吐出量を設定



#### <改善後>

- ・電圧、電流可変タイプのガンに変更。
- ・電圧の低下が可能となり、塗装面とガンの距離を200mmまで近接させる事が可能
- ・距離短縮により塗着効率が向上するため、塗料吐出量を約30%低減

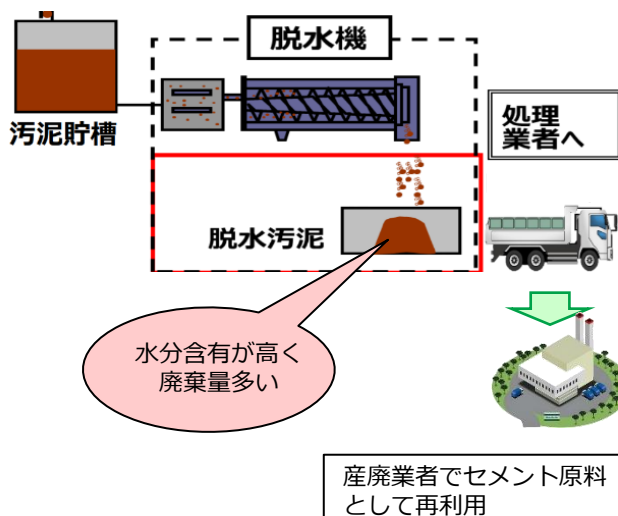


## 廃棄物低減に向けた取り組み状況

### 排水処理汚泥の水分低減による廃棄物削減

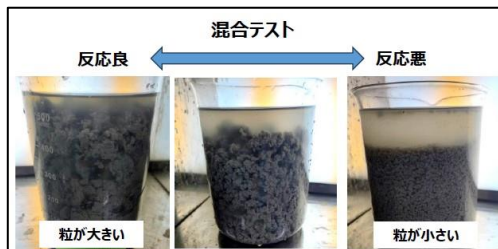
#### <改善前>

- ・排水処理汚泥は、脱水後に処分・リサイクルしているが、脱水後の水分含有が高く、廃棄量や搬出頻度が多かった



#### <改善後>

- ・排水処理に使用する薬品を変更することで、汚泥の粒度を細かくすることができ、脱水効率の向上により廃棄量や搬出頻度を削減



薬品種類	従来品	候補①	候補②
汚泥との反応性	◎	◎	△
脱水効率	△	◎	◎
評価	○	◎	○

#### <薬品効果>

⇒年間廃棄量が5%削減、運搬頻度10%削減

# 5. 自然共生活動



## 宮城県 伊豆沼環境保全活動

東北に拠点をおく企業として、（公財）伊豆沼・内沼環境保全財団様のご協力により、湿地の保存に関する国際条約である“ラムサール条約”に登録されている『伊豆沼』の環境保全活動を継続的に行っています。

### ラムサール条約締結40周年に合わせ、トヨタグループで環境保全活動

6月の環境月間にトヨタグループ（総勢152名）でアシカキ刈り取り、水路拡幅、カキツバタ移植を実施しました。また伊豆沼の魅力を知ってもらう活動として沼歩き体験会も開催し、沼の生き物にふれていただきました。

#### 集合写真（伊豆沼サンクチュアリセンター）



肌で感じる伊豆沼として、沼歩き体験で沼の生き物、植物にふれていただきました

参加企業：トヨタ自動車東日本、豊田合成東日本、トヨタ紡織東北、アイシン高丘東北、トヨタバッテリー、ダイハツ（敬称略）

#### 活動前に伊豆沼財団より活動目的や期待効果の説明をいただき、参加者のモチベーションアップ



#### 水生植物であるカキツバタの移植と水路の拡幅など湖岸で暮らす生きものの環境を整備しました



伊豆沼水生植物園での環境保全活動に2016年から継続して取り組んできたことが、地域における自然体験・環境学習の拠点としての価値を高める一助となっていることから宮城県自然環境保全活動功労者として認めいただき感謝状を授与されました



# 5. 自然共生活動



## 静岡県裾野市 環境保全活動

富士裾野テクニカルセンターは裾野市所在の企業として、市内の企業と共に、裾野市環境保全活動に参加しています。

### 裾野市パノラマロード コスモス・菜の花の種まき参加

コスモス種まきに62名が参加しました。(6/21:39名、10/4:23名)



コスモス

雑草と草取り

みんなでコスモスの種まき



### アマゴの放流 (狩野川水系水質保全協議会 裾野・長泉支部)

富岡幼稚園児46名と一緒にアマゴの放流に参加しました。

参加者のみなさんと記念撮影

アマゴ放流の準備

園児達によるアマゴの放流



### 狩野川水系協議会「河川清掃」(6月環境月間での活動)

黄瀬川「五竜の滝」周辺清掃

裾野市内協力企業計13社105名

当社参加者11名

五竜の滝



トヨタ自動車東日本株式会社 PE・環境部

〒981-3609 宮城県黒川郡大衡村中央平1番地

☎022-765-6000 (大代表)

発行 2026年6月